

街なかにマンションなどの高い建物が増え、京都らしさが失われつつある今、
一方で古きよき町家暮らしが注目を集め、建て替えよりも再生を望む声が多くなっています。

都市に新しく創造すべきもの、そして永く残すべきものとは？

大切なのは、街の個性を守り、人々の心地よい暮らし・環境を守りながら、都市空間としてつねに活性化させていくこと。

ゼロ・コーポレーションは京都の街並みを、京都の街とともに守り育てていきます。

京都生まれ、京都市育ちの ゼロ氏 の再生計画。

上手に残しながら、
創り育てていく。

街独自の魅力を損なわず
豊かに活性化させる、
意義ある街づくりを。

◎ゼロの市街地再生プラン

日本では戦後、人口集中による住宅難を解消するために、都市が郊外に向けて不規則に広げられました。緑の田園地帯には無表情ともいえる住宅団地が続き、建設され京都だけではなく、全国的に似たような街並みが多く誕生しました。数十年の時を経た今、こうした住まいの建て替えがあちこちで進んでいます。また、京都の街なかではここ数年、大きな町家がどんどん取り壊され、宅地に細分化されたり、高層マンションに建て替えられています。都市は社会や人々の生活に対応しながら変化するもの。しかし単に新しいものを創ればよいというものではありません。京都には京都ならではの残したい街並みや建物もたくさんあります。

ポイントは、いかにして「市街地再生」に取り組むか。ゼロ・コーポレーションは、時として立ち止まりながら歴史に紡がれた街の様相を見渡し、都市や建物のサイクルを考慮したうえで、街づくりを進めてゆきます。そして美しい街並みを創出する違和感のないファサードの導入など、地域の個性を守り育てながら、時代のニーズやシテムに合った建築物を生み出してゆく――それが市街地の再生、そして都市の活性化につながると思っています。



高辻稻荷町の街並み

京都の街なかには袋路が約三〇〇〇カ所。たとえば、このような場所で家を建て替える場合、従来の法規制では、建て替え前より小さな家しか建てられない、ということが生じていました。しかし昨年、建築基準法が改正され、「連担建築物設計制度」が制定。袋路全体で建ぺい率や容積率をクリアできればOKということになりました。当社が開発した紫野郷ノ上町の街並みは、「連担建築物設計制度ゼロ号」として建築史にその名を残します。ほかにも、若王子の蔵を残した街並みや西陣真倉町の町家と共存する街並みなど、ゼロ・コーポレーションは独自の市街地再生プランを推進しています。

◎次回は22日、「ゼロならではの街づくり」について、お楽しみに。



(株)ゼロ・コーポレーション

本社／〒603-8242 京都市北区紫野上野町108-1 TEL.075-495-1000 (代) FAX.075-493-5680
西院支店／〒615-0016 京都市右京区西院西院和院町52-111 TEL.075-321-6966 (代) FAX.075-321-6960
左京支店／〒606-8151 京都市左京区一乗寺花ノ木町13-1 TEL.075-701-3002 (代) FAX.075-701-3455
四條支店／〒604-8124 京都市中京区高倉通り四條上る帯屋町574 TEL.075-222-1390 (代) FAX.075-222-1308
神戸支店／〒653-0015 神戸市長田区菅原通り1丁目9カネンビル4F. TEL.078-579-0550 (代) FAX.078-579-0568
販売展示センター／〒604-8124 京都市中京区高倉通り四條上る帯屋町574 TEL.075-222-1790 (代) FAX.075-222-1308

●掲載内容についてのご意見やお問い合わせは、当社企画室まで。
<http://www.zero-corp.co.jp/>
TEL.075-492-8807 (企画室)